

おの やすひで
小野泰秀



水道事業の現状

質 水道事業は、公営企業であり、独立採算制を堅持し、収支均衡の原則に基づく運営が求められる。

健全な事業が推進できているか。

答 建設部長

水道使用料や各種手数料などを財源として事業を行っています。常に事務の簡素化や経営の合理化を図っており、事業は安定しています。



▲人通りが少なくなった犬飼商店街

複合商業施設の建設計画

質 三重町下赤嶺地域に大規模な商業施設の建設計画があり、周辺商

工会からは慎重な判断が求められている。一方、地元地権者からは

計画推進の要望もある。行政としての対応は。

答 市長

地域商業者への影響も懸念されるが、企業進出といった面から経済浮揚にも期待しています。

閉校後の構想は

質 来年3月で三重・緒方工業高校が閉校となる。

施設の活用について市としての構想はあるのか。

答 企画部長

閉校後の利活用は、県の方向性が示されています。三重高校は、市への無償譲渡を依頼しており、緒方工業高校は、企業誘致などの方策を探っています。

消防長

答 本市は、男女の区分を設けず募集していますが、女性の申し込みがない状況です。

質 消防庁舎の構造で、受け入れは可能か。

答 消防長

旧急患センターを改修、女性専用の更衣室などを整備し、対応していきたい。



身近なこころの病気

質 15人に1人は、かかったことがあると言われるこころの病「うつ」の対策は。

答 保健福祉部長

「自殺対策基本法」が施行され、国・県あげて自殺・うつ病対策に取り組み始めました。市内には、精神医療機関がないことから「うつスクリーニング」のモデル指定を受け、早期発見システムやフォロー体制を構築していきます。

女性消防職員の採用を



えとうちよこ
恵藤千代子

質 「男女雇用機会均等法」が施行され、女性の就業意欲も高まってきた。

女性消防職員の採用は。



▲「勤務に関する件、異常なし」（毎週月曜日朝礼）